

## 第 6 次基本経営計画「ベストパートナー 2021 ～ありがとうの先へ」の策定について

千葉県信用保証協会（会長 床並 道昭）は、新たに 2018（平成 30）年 4 月から 2021（平成 33）年 3 月を計画期間とする第 6 次基本経営計画を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 名称

「ベストパートナー 2021 ～ありがとうの先へ」

- 本基本経営計画は、当協会の基本理念である「私たちは創造性豊かな中小企業のおよきパートナーとして多様で活力ある成長と繁栄をサポートします。」の実現に繋がるものと位置づけています。
- 役職員が一丸となり、「ありがとう」の一步先へ行くサービスを提供することにより、「中小企業のベストパートナー」として、信頼される協会の実現に邁進してまいります。

#### 2. 計画期間

3 年間（2018 年 4 月から 2021 年 3 月）

#### 3. 現状認識と計画のねらい

- 日本経済は、政府による経済政策の効果もあり景気は回復基調にあります。また、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、今後の成長が期待されます。ただし、海外経済の動向は不透明感を増しており、動向に留意する必要があります。
- 県内経済においても、都市部への人口流入による住宅建設や圏央道、外環道等のインフラ整備などを背景に今後も堅調に推移するものと予想されます。
- 一方、個人消費が低迷していることの影響や事業承継、人手不足等の課題もあり中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあると認識しています。
- 2017 年度上期は、保証料の割高感の影響等により保証承諾、保証債務残高とも計画額、前年実績を下回っており、昨年度からの減少傾向が継続しています。一方、代位弁済は引続き低い水準で推移していますが、条件変更による返済緩和残高が依然高い割合にあることから、今後の経済情勢等によって代位弁済が増加する可能性があります。
- 中小企業の経営改善・生産性向上を促進するため、2017 年 6 月に信用保証協会法等の一部改正が行われ、新たなセーフティネットとして危機関連保証の創設や小規模事業者等への支援が拡充されるとともに、信用保証協会の業務に中小企業の経営支援が追加され、業務の運営にあたっては信用保証協会と金融機関が連携する旨が規定されました。
- こうした現状認識のなか、当協会は、中小企業の皆様のひとつひとつの資金需要に親切かつ丁寧に向き合うことで、金融の円滑化という信用保証協会本来の役割を発揮するとともに中小企業や金融機関の皆様のニーズに沿った、より質の高いサービスの提供や保証申込みの利便性を向上することでお客さま満足の向上（CS）を実現します。

- 金融機関では、AI やフィンテックに代表される金融と IT 融合の動きが急速に広まっています。当協会としても、こうした動きに適切に対応して行くとともに、お客さまサービスの充実のため保証審査業務等の合理化、効率化（BPR）に向けて自ら積極的に取り組んでまいります。
- 中小企業のライフステージに応じた、創業支援、経営改善・事業再生支援にかかる経営支援態勢の強化に加え、海外展開支援、事業承継支援を一層充実させることで中小企業の皆様が抱える様々な経営課題の解決に向け、当協会がより身近な存在として積極的な支援を行います。
- 地方創生のためには、金融機関、支援機関、自治体、大学等の皆様と連携が最も重要であると捉えていることから、当協会は、地方創生支援、創業支援、経営改善・事業再生支援等、様々な場面において各機関様との連携を模索し、地域経済の活性化に向けた取り組みを行います。
- 保証審査業務等の合理化、効率化や経営支援の充実、地方創生への貢献など重要課題に適切に対応して行くためには、職員一人ひとりのスキルアップが重要になることから、外部機関への派遣や資格取得の奨励、専門性の高い研修を行うことにより能力開発・人材育成に努めます。
- 多様な人材を積極的に活用するダイバーシティを推進し、ワーク・ライフ・バランスを充実させるなど、働きがいのある職場作りに取り組むことにより組織の活性化（ES）を実現します。

#### 4. 基本目標と重点課題

本基本経営計画では、「お客さま満足の追求（CS）」「地域・社会への貢献」「組織の活性化(ES)」「経営基盤の強化」の4つの基本目標に取り組んでまいります。

##### ○ 基本目標 I お客さま満足の追求（CS）

- ① お客さまニーズの把握
  - ・ 中小企業、金融機関への訪問、アンケート等によるニーズの把握
  - ・ 関係機関との情報交換の実施
- ② お客さまサービスの充実
  - ・ 金融機関との連携（リスク分担等）を通じた中小企業の経営改善・生産性向上の促進
  - ・ 金融支援にプラスαのサービスの提供
  - ・ お客さまのニーズに合った保証の取り組み
  - ・ 保証申込みの利便性の向上
  - ・ 保証審査業務等の合理化、効率化（BPR）
- ③ 経営支援の充実
  - ・ 小規模事業者向け資金繰り・経営改善支援の充実
  - ・ 創業支援の充実
  - ・ 経営改善・事業再生支援の機能強化
  - ・ 経営支援態勢の充実
  - ・ 再チャレンジ支援の強化
  - ・ 事業承継の一層の円滑化
  - ・ 海外展開支援の充実

④ 「顔の見える」保証協会の推進

- ・ 信用保証業務に係る説明会・金融機関訪問の計画的な実施
- ・ 協会認知度向上のための情報の発信

○ 基本目標Ⅱ 地域・社会への貢献

① 地方創生への取組み

- ・ 大学・自治体等との連携による地方創生支援
- ・ 地域金融機関・支援機関との連携しハブ機能を発揮
- ・ 自治体等と連携した保証制度の創設や創業・再生支援

② CSR（企業の社会的責任）の推進

- ・ 地域イベントへの参加
- ・ エコ・省エネ・環境美化活動の実施
- ・ 文化・芸術・スポーツ活動への支援

○ 基本目標Ⅲ 組織の活性化（ES）

① 能力開発・人材育成への取組み

- ・ 組織力の向上と活性化に向けた人材育成の推進
- ・ 経営支援に必要な人材の育成・確保
- ・ 目利き審査能力の向上
- ・ エキスパート業務の承継

② 働きがいのある職場作り

- ・ ダイバーシティの推進
- ・ ワーク・ライフ・バランスへの取組み
- ・ 組織体制のあり方等の検討
- ・ 職員のモチベーション向上への取組み

○ 基本目標Ⅳ 経営基盤の強化

① 経営の健全化

- ・ コーポレートガバナンスの強化
- ・ リスク管理態勢の強化
- ・ 反社会的勢力等の排除・不正利用の防止
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ 財務の健全性の確保

② 経営の効率化

- ・ 保証協会債権回収株式会社（サービサー）の有効活用
- ・ 業務の効率化のための取組み
- ・ アウトソーシングの有効利用の推進
- ・ 他協会との業務連携に向けた取組み

## 5. 目標とする指標

	2021年3月期目標
保証承諾額	4,500億円
保証債務残高	8,600億円
保証債務平均残高 ※	8,700億円
代位弁済	190億円
実際回収 ※	35億円
正味財産 ※	770億円

※ 保証債務平均残高は、該当年度毎月末時点の保証債務残高の平均値

※ 実際回収は、再生支援による回収を含む

※ 正味財産とは、一般企業における純資産総額